大府市議会

議　長　　早　川　高　光　　様

大府市議会建設消防委員会

委員長　　大　西　勝　彦

報　告　書

～大府市の道路行政について～

平成31年３月

大府市議会　建設消防委員会

１　はじめに

当委員会は、平成30年６月15日、所管事務調査として「大府市の道路行政について」の調査を行うことに決定し、以降、閉会中を中心に調査を行ってきた。

このたび、調査研究の成果を取りまとめたので、その内容を以下のとおり報告する。

２　調査の方法

調査については、閉会中を中心に、市職員を講師とした勉強会、愛知県との情報交換会、市内視察、県内外自治体への視察調査等により行った。

(1)　平成30年６月15日（金）　建設消防委員会

- 所管事務調査として「大府市の道路行政について」の調査を行うことに決定した。
- 本調査については、議長に対し、調査研究が終了するまで、閉会中の継続調査の申出をすることに決定した。

(2)　平成30年６月15日（金）　建設消防委員意見交換会

- 平成30年７月10日に、都市整備部都市計画課職員及び建設部土木課職員を講師とし、「大府市の道路行政について」の勉強会を行うこととし、その後あわせて意見交換会を行うことに決定した。

(3)　平成30年７月10日（火）　建設消防委員勉強会（委員派遣）

- 委員６名全員で、都市整備部都市計画課職員及び建設部土木課職員を講師に、「大府市の道路行政について」をテーマに、勉強会を行った。

大府市職員との勉強会

(4)　平成30年７月10日（火）　建設消防委員意見交換会

・ 都市整備部都市計画課職員及び建設部土木課職員を講師とした勉強会について、各委員に所感を求め、委員間で意見交換を行った。
・ 委員長から提案があった調査研究の大日程とアウトラインに沿って調査を進めることになった。
・ 平成30年８月23日に、建設部土木課職員と市内の道路整備の現状の視察を行うことに決定した。

(5)　平成30年８月23日（木）　建設消防委員会市内視察（委員派遣）

・ 委員６名全員で、建設部土木課職員と、市内の道路整備の現状の視察を行った。

橋梁工事の現地視察

(6)　平成30年８月29日（水）　建設消防委員意見交換会

・ 市内の道路整備の現状の視察について、各委員に所感を求め、委員間で意見交換を行った。

(7)　平成30年９月19日（水）　建設消防委員意見交換会

・ 行政視察について、質問事項等の確認をした。
・ 平成30年10月26日に、愛知県知多建設事務所道路整備課職員と道路行政について、情報交換会を行うことに決定した。

(8)　平成30年10月22日（月）　建設消防委員先進事例視察（委員派遣）

・ 委員６名全員で、大府商工会議所大府支部及び都市整備部都市計画課職員と、愛知県刈谷市のまちづくりについて、先進事例視察を行った。

刈谷駅北地区事業の視察

(9)　平成30年10月26日（金）　建設消防委員情報交換会（委員派遣）

・ 委員６名全員で、愛知県知多建設事務所道路整備課職員と、道路行政について情報交換を行った。

(10)　平成30年11月２日（金）　県外視察調査（委員派遣）

・ 委員６名全員で、宮城県名取市の道路行政について（ラウンドアバウトについて）調査を行った。

宮城県名取市の調査

(11)　平成30年11月16日（金）　建設消防委員意見交換会

・ 宮城県名取市への視察調査について、各委員に所感を求めた上、それぞれの調査内容について、委員間で意見交換を行った。
・ これまでの調査研究の内容を踏まえ、報告書に向けての論点整理を行った。
・ テーマ活動全体会議について、委員間で事前確認を行った。

(12)　平成30年11月22日（木）　テーマ活動全体会議

・ 今年度のテーマ活動に関する中間報告を委員長から行い、報告内容に対し、委員外議員から質疑や意見をいただいた。

(13)　平成30年12月13日（木）　建設消防委員意見交換会

・ テーマ活動全体会議において委員外議員からいただいた質疑や意見について、委員間で意見交換を行い、報告書の内容を検討した。

(14)　平成31年１月23日（水）　建設消防委員意見交換会

・ 委員間で意見交換を行い、報告書の内容について検討した。

(15)　平成31年２月14日（木）　建設消防委員意見交換会

・ 委員間で意見交換を行い、報告書の内容について検討した。

(16)　平成31年２月14日（木）　建設消防委員会

・ 報告書の内容を決定し、本会議で報告することとした。

本会議報告を決定した採決

※調査研究の進捗状況については、建設消防委員会ニュース（メール配信）で、全議員及び関係部課長に随時報告を行った。

３　調査研究の結果

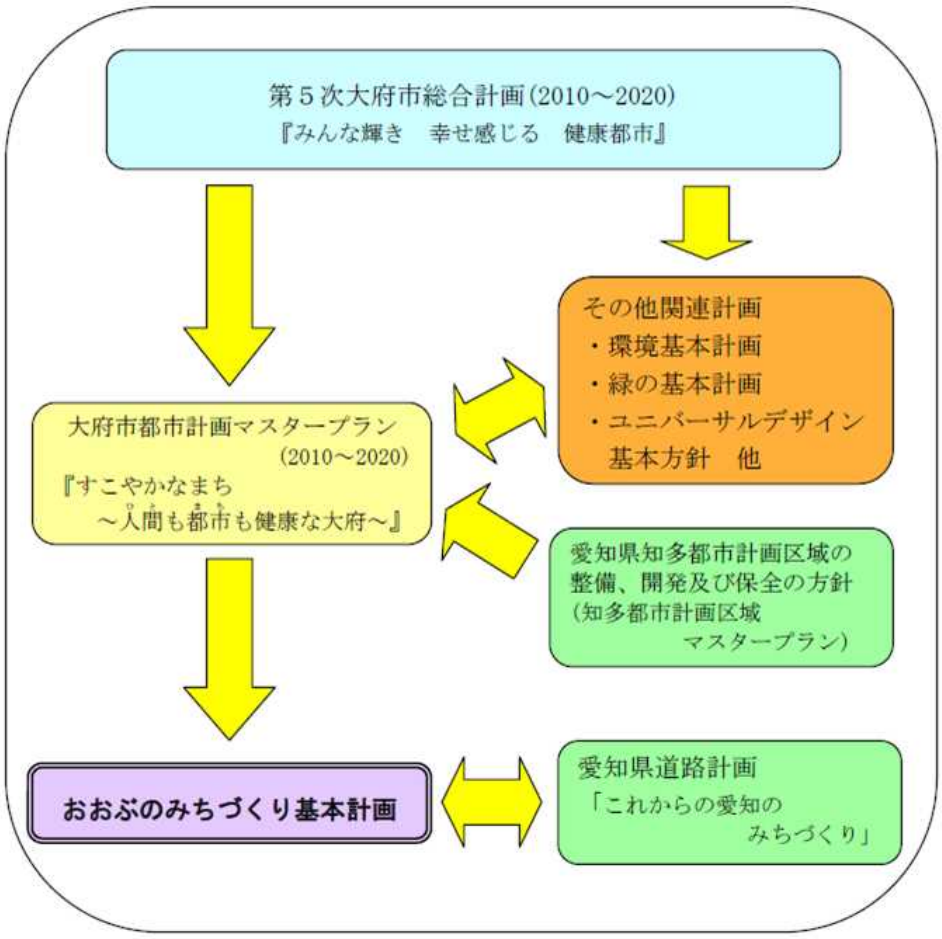
当委員会は、今回の調査研究を進めるに当たって、大府市への提言事項をまとめることを目的として活動した。そして、その活動の中で得た情報や知識を建設消防委員以外の議員全員と共有すること、さらには、市民と共有することも、この調査研究の目的として活動してきた。以下に、その内容を報告する。

(1)　道路行政の基礎知識

大府市都市整備部及び建設部との勉強会並びに愛知県知多建設事務所道路整備課との情報交換会で確認した事項は、以下のとおりである。

①道路計画の位置付け

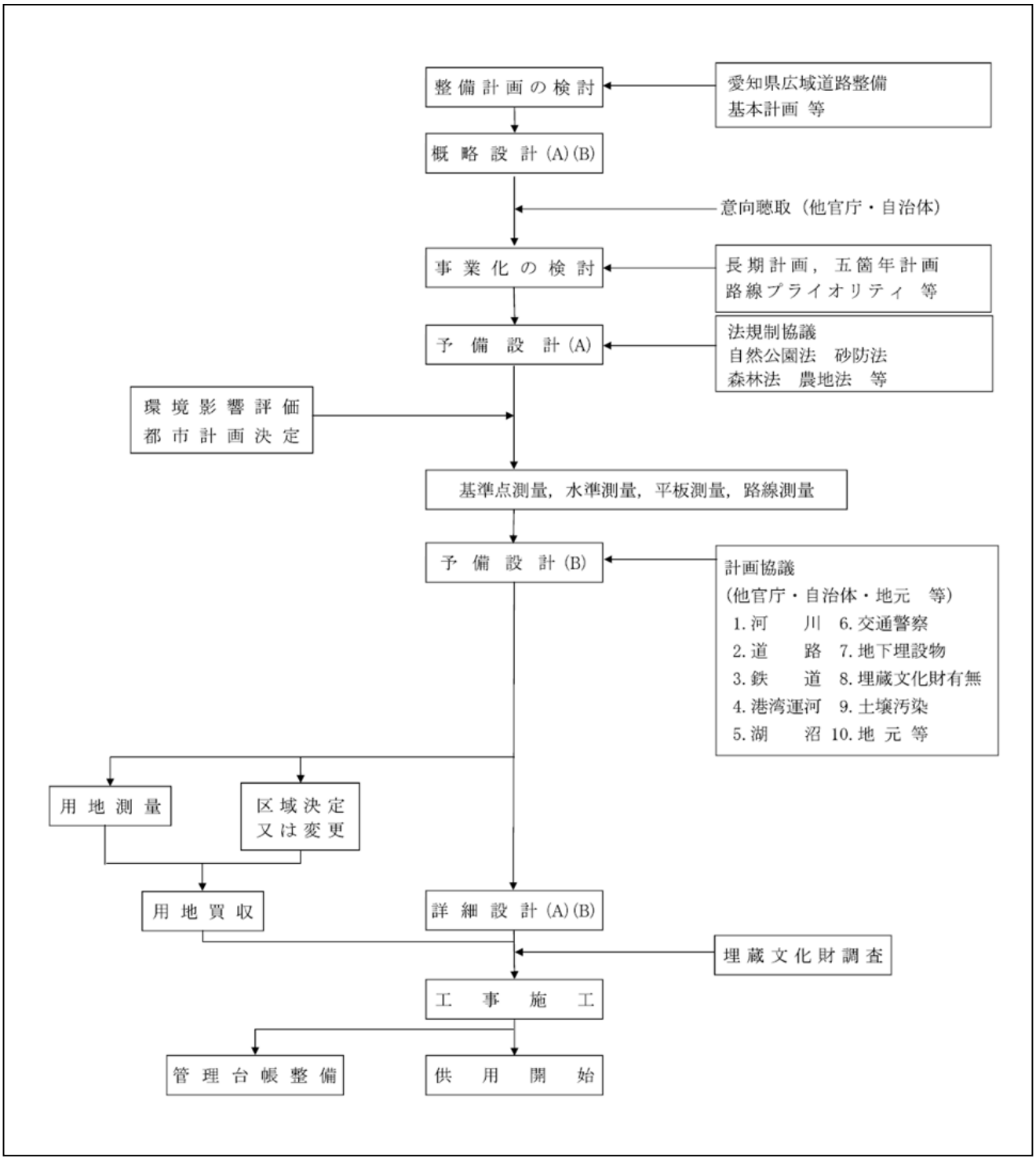
本市の道づくりは、平成25年３月策定の「おおぶのみちづくり基本計画」に基づいて計画的に実施している。その位置付けは、「第５次大府市総合計画」（最上位計画）⇒「第３次大府市都市計画マスタープラン」（上位計画）⇒「おおぶのみちづくり基本計画」となっている。さらに、「愛知県道路計画」とも連携を図っている。



＜図表１　出典　「おおぶのみちづくり基本計画」平成25年３月　P.１「計画の位置付け」＞

②道路整備のステップ

道路整備のステップは、以下の工程に区分される。



＜図表２　出典　「道路構造の手引き　愛知県建設部」平成23年４月

P.11「第１編　総則　６．道路の計画・設計・施工の基本」＞

これらを、さらに大きく５つのステップに分類すると

１.計画策定
２.調査設計
３.用地買収
４.工事施工
５.供用開始

となり、市民には「４.工事施工」のステップからしか見えてこない状況である。

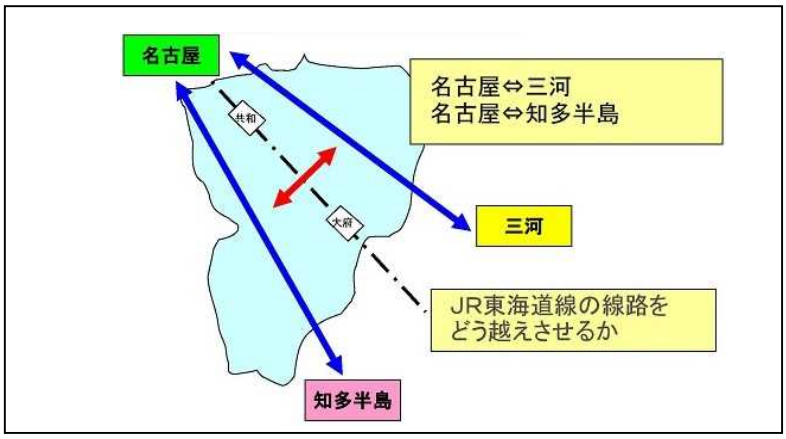
③愛知県との関係

・ 本市では毎年、市内の国県道の整備に関する要望について、市長が愛知県建設部長に直接内容を説明し、早期整備に向けた働き掛けを行っている。
・ 市内の県道に関する要望の優先順位付けは、大府市内部で検討後、愛知県に要望している。

(2)　全議員及び市民と共有したいこと

当委員会が、調査研究を進める中で、委員以外の全議員及び市民と共有したいと考えた事項について、以下に列挙する。

①大府市の道路行政の課題は、「名古屋と知多半島や三河地域間の通過交通」と「ＪＲの線路越え」の大きく二つである。さらに、市内でネックとなっている交差点は、県道の交差点が多いということも課題となっている。



＜図表３　委員会作成＞

②道路はネットワークができて、初めて本来の道路としての機能を果たす。

③都市計画道路の整備は着実に実施していかなければならないが、数字が先行して、整備率を上げやすい道路から整備していくようなことがないように留意しなければならない。常に生活者の目線からの改善をしていかなければならない。

④市全体の発展を考えるなら、生活の利便性の向上という視点だけではなく、産業振興のための道路づくりという観点も重要である。

⑤本市には、都市計画道路が決定されてから数十年を経過した道路もあり、未着手道路もある。現在、愛知県では都市計画道路を見直す動きもある。

⑥道路改良などの愛知県と大府市の役割分担は、その道路管理者が行うことが原則である。例外として、協議の上、大府市が県道の一部を整備する場合もある。

⑦現在予定されている大府市内の道路整備計画は、別紙（「大府市の道路計画」）のとおりである。なお、この内容は、報告書作成時点の計画であり、用地交渉や工事の進捗により、供用時期が変更となる場合がある。

(3)　新たな視点

当委員会では、調査研究のため、先進地への視察も行った。そこで気付いた新たな視点、道路整備手法を報告する。

①ラウンドアバウト（環状交差点）

宮城県名取市を現地視察した。現在設置されているラウンドアバウトは、静かで落ち着きのある街並み形成のため、全て民間開発の宅地分譲地内に設置されている。ただし、名取市では、今後、既存の交差点を改良する計画はない。

ラウンドアバウト（環状交差点）とは

・円形平面交差点のうち、環道の交通が優先されるもの。

・環道交通は時計回りの一方通行で、信号や一時停止の規制を受けず、環道に流入する車両は徐行し、環道に通行車両がなければ一時停止なしに流入可能。

＜図表４　委員会作成　左の図については、山梨県警察ホームページ（2019-2-6）から引用＞

②コミュニティ道路と電線の地中化

刈谷市の駅前開発地区で施工中である電線の地中化は、防災対策としても有効である。

コミュニティ道路とは

・広い意味では、人と車の共存を目的とした道路。

・歩車共存道路と比較した狭い意味では、歩道をゆったりととり、また、車のスピードを落とさせたり、通過交通も減らしたりするために、車道を曲線化した道路。

住宅地に整備されたコミュニティ道路

＜図表５　出典　「おおぶのみちづくり基本計画」平成25年３月
P.19「コミュニティ道路の整備」及びP.34「用語解説」＞

(4)　大府市への提言

以上の調査研究結果を踏まえ、以下の４項目について、大府市へ提言する。

①愛知県への道路整備要望箇所の優先順位付けについては、その理由を明確にし、市民に対し情報提供及び公開をすること。

②「ＪＲの線路越え」ネックの解消を図ること。

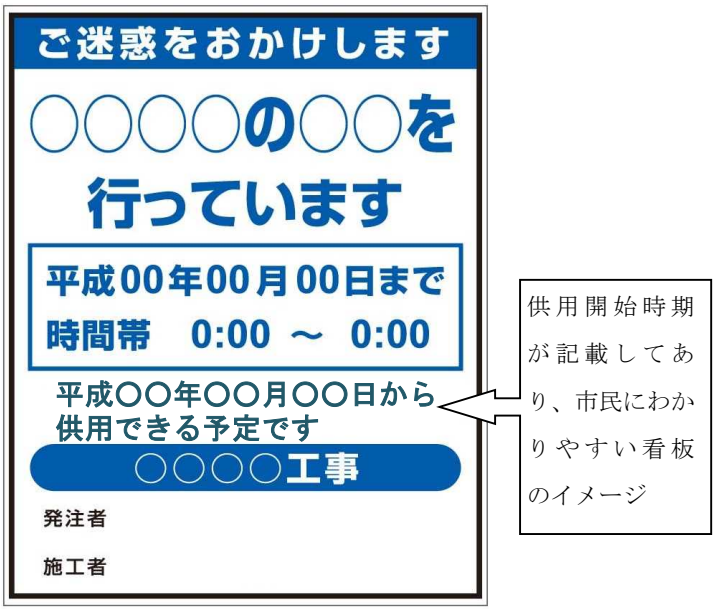
- 柊山大府線のＪＲ越えへの延伸に早急に着手する。
- 柊山地下道における歩行者の安全確保のため、歩道の拡幅、新設を実施する。
- 瀬戸大府東海線のＪＲ越えの渋滞解消のため、４車線化を含む解決策を検討する。

③新たな道路整備手法を検討すること。

- 新たな住宅地開発において、ラウンドアバウト（環状交差点）の設置の可能性を検討する。
- 景観という視点だけでなく防災対策という観点からも、電線等の地中化を推進する。

④道路整備について、市民に積極的に情報を提供すること。

- 別紙（「大府市の道路計画」）のように、県道も含めた道路計画の情報を、単年度単位ではなく、数年後までの予定と現在の状況（ステップ）を、広報おおぶやホームページに掲載する。
- 工事現場の看板については、供用開始時期や完成イメージ図などを掲載した、市民向けのわかりやすいものを設置する。



＜図表６　委員会作成＞

具体的な提言項目は以上だが、まちづくりの視点から「回遊性」「歩いて暮らせる道路」の要素を加味した交通政策全体の戦略を策定している自治体もあることを付記しておく。

４　おわりに

今回の調査研究においては、当委員会では徹底的に現場主義にこだわって進めてきた。市内の現場を委員全員と市担当職員で視察したことを始め、愛知県知多建設事務所道路整備課と直接情報交換を実施してきた。このような取組により、日頃から直接、市民の要望及び疑問を受け取る議員と、愛知県や大府市の担当職員と忌憚のない意見交換ができたことは、大変有意義であったと考えている。

また、今回の調査研究では、そこで学んだ知識や知り得た情報を、委員会の委員のみならず、委員以外の全議員や市民と情報を共有することも一つの目的として活動してきた。その結果、報告書という形で情報を共有できたこともうれしく思っている。特に、行政を執行するに当たっては、市民への徹底した情報公開が求められており、市民の知りたい情報を積極的に知らせていく姿勢が、これからも重要となってくる。そのことを改めて、執行部や議員と確認しておきたい。

最後に、今期の委員会の取組が市民にとって、少しでも幸せを感じていただける結果に結び付くことを期待し、当委員会の調査活動に御協力いただいた全ての方々に、お礼を申し上げ、本報告書の結びとする。

建設消防委員会委員名簿

（平成30年５月11日～平成31年４月30日）

役職名	氏　　名	所属会派
委 員 長	大西　勝彦	市 民 ク ラ ブ
副委員長	鷹羽　琴美	自 民 ク ラ ブ
委　　員	鷹羽登久子	無所属クラブ
委　　員	三宅　佳典	市 民 ク ラ ブ
委　　員	深谷　直史	自 民 ク ラ ブ
委　　員	窪地　　洋	公　　明　　党

（備考）

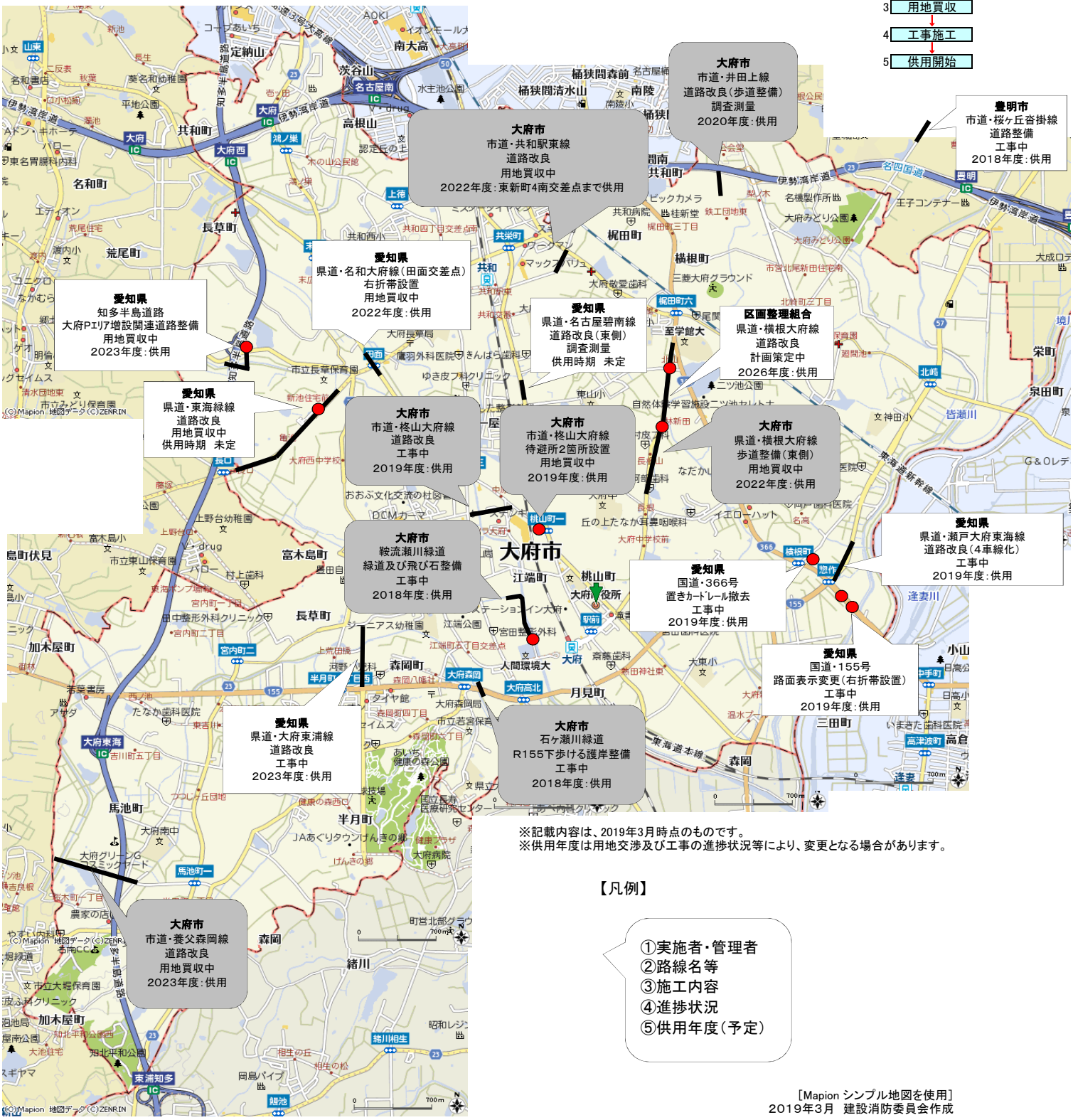
正副委員長のほかは、議席番号順

別紙

大府市の道路計画

★道路整備のステップ

1 計画策定
↓
2 調査設計
↓
3 用地買収
↓
4 工事施工
↓
5 供用開始



※記載内容は、2019年3月時点のものです。
※供用年度は用地交渉及び工事の進捗状況等により、変更となる場合があります。

【凡例】

①実施者・管理者
②路線名等
③施工内容
④進捗状況
⑤供用年度（予定）

［Mapion シンプル地図を使用］
2019年3月　建設消防委員会作成